

鹿 児 島 大 学
水 産 学 部 紀 要

MEMOIRS OF
THE FACULTY OF FISHERIES
KAGOSHIMA UNIVERSITY

第 5 ~ 10 卷

Volumes 5—10

昭和31年12月～昭和36年12月

Dec. 1956—Dec. 1961

鹿 児 島 大 学 水 産 学 部 発 行

Published by
The Faculty of Fisheries, Kagoshima University
Kagoshima, Japan

総 目 次

第 5 卷 (創基十周年記念号) 昭和 31 年 12 月

1. 日中漁業協定について
公海漁業の国際規則に関する新原則 (英文) ……………今田 清二… 1
2. 日本漁業発展過程の解明 (2)
特に坊津鯉漁業についての一考察……………原 多計志… 10
3. ブリ落網の改良に関する研究 (第 3 報)
土俵網の張力計と測定結果について……………金森 政治・黒木 敏郎… 17
4. ブリ落網の改良に関する研究 (第 4 報)
底層式附落網の模型実験……………金森 政治… 21
5. ブリ落網の改良に関する研究 (第 5 報)
底もった網(富山湾)とサケ改良底建網(北海道)の模型実験……………金森 政治… 24
6. マグロ延縄漁具の構造による漁獲性能に関する研究 (第 1 報)
延縄漁具における釣鉤の深度別漁獲の相異について……………盛田 友弼… 30
7. マグロ延縄漁具の構造による漁獲性能に関する研究 (第 2 報)
釣鉤 4 本附, 5 本附マグロ延縄漁具の操業試験結果について……………盛田 友弼… 36
8. 薩南海域産ゴマサバの産卵期の考察……………田ノ上豊隆… 42
9. レーダーによるマグロ延縄の探知について (第 2 報) ……………源河 朝之… 53
10. 1955年 6 月 20 日の皆既日食時における観測について
気象, 海洋, 生物の部……………藤田 親男・源河 朝之… 60
11. 大型対称式回流水槽について……………奈良迫嘉一・金森 政治… 64
12. 釣獲率よりするビンナガ魚群態の算定理論 (英文) ……………黒木 敏郎… 78
13. 日本産トビウオ類の特徴と検索
Ⅰ. 成魚の特徴 Ⅱ. 稚魚期の特徴……………今井 貞彦… 91
14. 日本南海産海藻類の研究 其二 (英文) ……………田中 剛…103
15. 東経 130° 線で採集されたプランクトンの分布について ……………税所 俊郎…109
16. 魚類内臓酵素作用の研究……………越智 通秋…115
17. 鮭卵の研究補遺
卵の滲透圧と卵膜の破壊について……………高田 幸二…124
18. 魚肉中のアミンの生成について (Ⅰ)
魚介肉の鮮度低下に伴うヒスタミン及びチラミンの生成
……………太田 冬雄・福山 実…129
19. 魚肉中のアミンの生成について (Ⅱ)
魚肉中のヒスタミン生成に対する温度の影響……………太田 冬雄・鯉坂比呂志…134
20. 魚肉の鮮度低下に伴う“チロシン値”の変化について (Ⅲ)
……………太田 冬雄・西元 諄一・城井 達夫…140
21. 海水中のビタミン B₁₂ に関する研究 (Ⅰ)

- 海水中のビタミンB₁₂ 定量について
 ……………柏田 研一・柿本 大壹・金沢 昭夫…148
22. サクラエビの生化学的研究 (I)
 サクラエビの一般成分について……………柿本 大壹・金沢 昭夫…153
23. サクラエビの生化学的研究 (II)
 サクラエビの糖類について……………柿本 大壹・金沢 昭夫・吉田 繁…156
24. 魚類血液の生化学的研究 (VII)
 Hemochromogen 及び Chlorohemin 結晶形の種属的差異について
 ……………斎藤 要…160
25. 魚類の肉質変化に関する生化学的研究 (II)
 各種動物筋肉の Myosin 系蛋白質とその ATPase について
 ……………斎藤 要・日高 富男…165
26. “ふなくいむし”の消化管内繊維素分解菌に関する研究 (II)
 細菌セルラーゼについて……………日高 富男・斎藤 要…172

鹿児島大学水産学部放射能研究委員会報告

- 第Ⅳ報 南方諸海域及び東支那海における海水の放射能検索について
 ……………金森 政治・盛田 友弼・田ノ上豊隆・黒木 敏郎…178
- 第Ⅴ報 漁具資材の汚染防除について
 ……………金森 政治・黒木 敏郎・盛田 友弼・田ノ上豊隆…184
- 第Ⅵ報 魚肉に対する Fission Product の挙動……………高田 幸二・西元 諄一…190
- 第Ⅶ報 核分裂生成物の海藻への転移並びに除去に関する研究
 ……………斎藤 要・鮫島 宗雄…196
- 第Ⅷ報 Fission Product による海藻の汚染について……………田中 剛…205

第 6 卷

昭和 33 年 3 月

1. 海上微細気象の観測及び研究 (英文) ……………高橋 淳雄… 1
2. 湖水及び海の水温年変化資料の物理的処理 (英文) ……………高橋 淳雄… 47
3. 灯に集まる魚群の立体的記録例について……………黒木 敏郎・中馬三千雄… 77
4. 電載捕鯨用のパイプ銃発射機と同電纜ロープとに関する研究
 ……………黒木 敏郎・奈良迫嘉一… 82
5. 魚群生態に關与する水中音の基礎的研究 (第Ⅱ報)
 水中で発するヒモの音について……………黒木 敏郎… 89
6. 集魚用蛍光電灯の研究 (第Ⅰ報)
 各色光の波長分布並に白熱灯との比較……………黒木 敏郎・中山 博… 95
7. 大型対称式回流水槽について (続) ……………奈良迫嘉一・金森 政治… 99
8. 漁船模型による回流水槽と曳航水槽との抵抗試験結果の比較について
 ……………奈良迫嘉一…106
9. 鹿児島湾内産主要魚類の漁況と環境要因についての研究—Ⅱ
 小サバについて……………田ノ上豊隆…109

10. 魚類燻製品の研究
燻製品中のホルムアルデヒド量について……………越智 通秋…115
11. ビューレット試薬による魚肉蛋白質の迅速定量 (I)
呈色反応の促進と発色液の濁りの除去……………大城善太郎…119
12. ビューレット試薬による魚肉蛋白質の迅速定量 (II)
固形試料の直接定量について……………大城善太郎…125
13. 冷蔵及び氷蔵の細菌学的研究 (1) ……………高田 幸二・内山 武保…128
14. 魚肉中のアミンの生成について (V)
魚肉中のヒスタミンの生成に対する温度の影響 (2)
……………太田 冬雄・金子 弘助…134
15. 魚肉中のアミンの生成について (VI)
魚肉中のヒスタミンの生成に対する調味料の影響
……………太田 冬雄・波江野利勝…139
16. カビ付によって起るカツオ節の化学成分の変化について
……………金沢 昭夫・柿本 大壺…144
17. 魚肉に対する Cl^{36} の挙動 ……………高田 幸二・斎藤 要・日高 富男…148
18. S^{35} の海藻への転移に関する研究 (I) ……斎藤 要・鮫島 宗雄・田中 剛…153

第 7 卷

昭和 34 年 2 月

1. 日本近海産トビウオ類生活史の研究— I ……………今井 貞彦… 1
2. 魚群の移動と出現状況との関係……………黒木 敏郎… 87
3. 魚類生態に關与する水中音の基礎的研究 (第 III 報)
無反響水槽壁に關する研究……………黒木 敏郎…102
4. ブリ落網の改良に關する研究 (第 6 報)
ブリ底建網の模型実験……………金森 政治…106
5. ブリ落網の改良に關する研究 (第 7 報)
後流と抗力についての模型実験……………金森 政治…113
6. 日食時の鯖延縄の漁況変動について (英文) ……………田ノ上豊隆…116
7. 日食が無線通信に及ぼす影響について……………高橋 健蔵…124
8. 金環食が船舶裝備の Magnetic Compass, Loran 及び Radar に及ぼす影響
……………源河 朝之…128
9. 鹿児島県海岸温泉について……………高橋 淳雄…133
10. 西部太平洋赤道域の海況 (英文) ……………高橋 淳雄…141
11. 海洋観測中の鋼索の形について (英文) ……………茶円 正明…148
12. マンゴリ, タリアブ両島沿海に於けるマグロ漁況について (第 1 報)
……………植田 総一・玉利 達夫…154
13. 五島列島近海におけるカツオの漁場構成について……………盛田 友弑…161
14. スプライスの滑脱について (第 1 報)
滑脱力と原索破断力との關係について……………植田 総一…168
15. 紙模型による復原力交叉曲線作製法に就いて……………奈良迫嘉一…173

16. カツオ塩辛に関する研究—I
幽門垂中の Proteolytic Enzyme について……大城善太郎・出口 重遠…181
17. 藻類の栄養代謝に関する研究—I
アサクサノリの生育に対するアミノ酸及びビタミン類の効果
……………金沢 昭夫・柏田 研一…187
18. 魚類血液の生化学的研究—XIV
赤血球の平均恒数と形状について……………斎藤 要…192
19. 池田湖調査資料 (I) ……………199
20. 鹿児島大学水産学部木造漁業練習船しろやま……………しろやま建造委員会…206

第 8 卷

昭和 35 年 2 月

1. 社会的, 経済的又は技術的理由に起因する公海漁業の国際紛争を防止し又は解決
するための示唆 (英文) ……………今田 清二… 1
2. 日本近海産トビウオ類生活史の研究—II ……………今井 貞彦… 8
3. 魚類の変質とカルボニル体—III
魚肉中の揮発性カルボニル体の生成に影響する因子……………太田 冬雄… 47
4. リノール酸の酵素的酸化における低級カルボニル体の生成過程 (英文)
……………太田 冬雄… 52
5. カツオ塩辛に関する研究—II
熟成中における化学的变化について……………大城善太郎・是枝 登… 56
6. 鰹肉の冷蔵保管中の変化—I
凍結冷蔵による蛋白変性について……………西元 諄一・田中 和夫… 61
7. 鰹肉の冷蔵保管中の変化—II
組織切片の観察について……………西元 諄一・田中 和夫… 70
8. 魚類の肉質変化に関する生化学的研究—II
魚肉 Actomyosin 区による ATP の分解……………日高 富男・斎藤 要… 75
9. 1958年かごしま丸国際地球観測年航海報告 (英文)
……………高橋 淳雄・茶円 正明・植田 総一… 82
10. 1958年敬天丸国際地球観測年航海報告 (英文)
……………茶円 正明・辺見 富雄・高橋 淳雄… 87
11. 魚類の聴覚特性に関する研究—II
側線の線型による方向知覚差について……………黒木 敏郎… 89
12. 長時間採水器とその活用に関する研究 (第 I 報)
採水の方法とその要点……………黒木 敏郎・野沢 治治…101
13. 漁船用簡易外板腐蝕検定器に就て
共振法による超音波厚み測定……………奈良迫嘉一・大屋 典弘・山辺 亮…111
14. トカラ列島近海におけるカツオの漁場構成に関する研究 (第 1 報)
漁場水温と漁況について……………盛田 友弼…121
15. 南西諸島の小サバについて……………田ノ上豊隆…130
16. 東支那海区のサバ漁業についての一考察……………江波 澄雄…135

17. 気泡網に関する研究—I

二、三の淡水魚についての駆集及び遮断効果……………江波 澄雄…140

18. 定置網に働く流水抵抗に関する研究（英文）……………金森 政治…145

鹿児島大学水産学部放射能研究委員会報告

第Ⅱ報 1958年より1959年における西部北赤道海流域の海水、プランクトン及び魚類
の放射能汚染に関する研究……………斎藤 要・鮫島 宗雄・辺見 富雄…181

第 9 卷

昭和 35 年 12 月

1. 魚類血液の生化学的研究—XV

血清蛋白質と色素イオンの結合性にみられる種属特異性……………斎藤 要… 1

2. 船内氷蔵の効果向上に関する基礎試験—I

魚鱸の細菌汚染の実態と市販殺菌灯の使用効果について

……………鮫島 宗雄・斎藤 要 16

3. カツオ幽門垂のビタミン B 群に関する研究—Ⅲ

ビタミン B₆ について……………柿本 大彦… 22

4. 投射物体の水面における滑りの研究—I（英文）……………藤田 親男… 31

5. 西部赤道太平洋における水塊の混合状態（英文）……………茶円 正明… 37

6. 東支那海におけるシロカジキの漁場構成に関する研究—Ⅱ

漁場におけるシロカジキの海洋環境の特徴について……………盛田 友弐… 48

7. 鹿児島湾内産主要魚類の漁況と環境要因についての研究—Ⅳ

小アジについて……………田ノ上豊隆… 54

8. 新設動揺試験水槽の構造並びに性能について……………奈良迫嘉一… 61

9. (続) 定置網に働く流水抵抗に関する研究……………金森 政治… 71

10. 北限分布地である奄美大島、大島海峡のシロチョウガイ（英文）……………和田 清治… 79

11. ウチワエビ及びカノコイセエビのフィロゾマ幼生における初期発生について

(英文)……………税所 俊郎・中原官太郎… 86

12. 日本南海産海藻類の研究 其の三（英文）……………田中 剛… 91

13. 日本産寄生紅藻類の一種について（英文）……………田中 剛・野沢ユリ子…107

第 10 卷

昭和 36 年 12 月

1. カキおよびシンジュガイ卵の受精と卵核胞の崩壊（英文）……………和田 清治… 1

2. 印度洋における放射能の検索（英文）……………斎藤 要… 9

3. 1959年より1960年における鹿児島県南方海域の魚類、海水およびプランクトンの
放射能汚染に関する研究……………鮫島 宗雄・斎藤 要… 15

4. 細菌プロティナーゼによる魚肉アクトミオシンの分解と凝固について

……………日高 富男… 23

5. 海藻のビタミン B 群に関する研究—I

ビタミン含有量について……………金沢 昭夫… 38

6. 魚皮髹製に関する基礎的研究……………越智 通秋… 70

-
7. ゴマサバの体温と釣獲層の関係について……………田ノ上豊隆… 90
8. 大型回流水槽に依る1000噸型漁船の船型試験結果について……………奈良迫嘉一… 96
9. 鹿児島における Loran による時間差測定の結果について
……………源河 朝之・田口 一夫…102
- (資料) 鹿児島大学練習船かごしま丸の建造費について……………高橋 健蔵…118